別紙資料５

「平成２９年度戦略的国際標準化加速事業」

提案書ひな型

１．提案書は、次頁以下の記載例に従って記載してください。

２．用紙はＡ４版で、縦置き・横書き、左綴じにしてください。

３．提案書は、正１部、写６部を提出してください。

４．提案書のwordファイルを格納したCDを1枚、併せて提出してください。

５．提出時、このページは削除してください。

平成２９年５月

株式会社　三菱総合研究所

(表紙の記載要領)

平成２９年○○月○○日

「平成２９年度戦略的国際標準化加速事業（政府戦略分野に係る国際標準開発活動）」に対する提案

事 業 名　　「政府戦略分野に係る国際標準開発活動（中国標準化動向調査）」

企業名等　　○○○○○○○○株式会社

代表者名　　代表取締役社長　○○　○○　　　　印（外国企業の場合はサイン）

所 在 地　　○○県△△市□□町○**－**○**－**○　 (郵便番号000-0000)

連 絡 先　　所　属　　○○部○○課

　 　 役職名 ○○○○○

　氏　名 ○○　○○

　ＴＥＬ ○○○○

　ＦＡＸ ○○○○

　e-mail ○○○○

（注１）複数の者による共同提案の場合は、すべての者の連名としてください。

　　　　なお、表紙については、提案者毎で別様にすることは可能です。

（注２）社印ではなく代表者印を押印してください。

（注３）公募要領の最終ページに記載した「個人情報のお取り扱いについて」をご一読の上、ご記名ください。ご記名いただいた場合には、ご同意いただいたこととさせていただきます。

(本文の記載要領)

※複数の者による共同提案の場合は、以下の２．（２）以降の各項目については、それぞれの応募者の内容がわかるように適宜記載してください。

**１．調査の背景及び目的**

【基礎点評価の観点】

・本事業の目的、背景を理解した提案となっているか。

**（１）背景**

調査の背景を記載してください。

**（２）目的**

調査の目的を具体的に記載してください。

**２．調査事業の実施方針等**

**２．１　調査内容**

調査内容について、できるだけ具体的かつ詳細に記載してください。

【基礎点評価の観点】

・仕様書記載の内容について全て提案されているか。

・事業内容が具体的かつ詳細であるか。

・偏った内容の調査になっていないか。

【加点評価の観点】

・例示として月次レポート報告案を提案書に含めた場合、その内容が独自の提案を含み、調査の目的に則した内容となっているか。

**２．２　調査方法**

上記内容との対応を明確にし、調査の実施方法を具体的に記載してください。

【基礎点評価の観点】

・文献調査の方法、ヒアリングの方法等が効果的・効率的であるか。

【加点評価の観点】

・本事業の目的を効果的に達成するための独自の提案を含んでいるか。

**２．３　作業計画**

調査目的の達成に向けたスケジュール、作業手順等を記載してください。必要に応じ、作業を遅滞なく進めるための工夫などを記載してください。

【基礎点評価の観点】

・文献調査等の手順、日程等に無理がなく、実現性があるか。

３．組織の経験・能力

３．１　類似調査業務の経験

組織のこれまでの調査実績等について記載してください。

【加点評価の観点】

・過去に基準認証に関する調査事業を行った経験があり、ノウハウが蓄積されているか。

・過去に中国の制度（分野を問わず）について調査を実施した実績があり、ノウハウが蓄積されているか。

３．２　組織としての調査実施能力

事業実施体制、経営基盤・情報処理能力、中国とのネットワーク等について記載してください。

【基礎点評価の観点】

・組織として文献調査・ヒアリング調査を実施する体制を組むことが可能か。

【加点評価の観点】

・調査事業実施体制を組むにあたり、特筆すべき事項（能力等）を有しているか。

３．３　管理・バックアップ体制

調査業務の実施にあたっての管理、バックアップ体制について記載してください。

【基礎点評価の観点】

・事業を遂行可能な人員の確保がなされているか。

・調査等の実施に当たっての管理・バックアップ体制が構築されているか。

・事業を行う上で適切な財政基盤・経理処理能力を有しているか。

【加点評価の観点】

・事業を実施するための人員に余裕があるか。

・中国本土に支店や関係する事務所など、調査事業をバックアップする体制があるか。

４．業務従事者の経験、能力

４．１　類似調査業務の経験、業務歴

業務事業者のこれまでの調査実績等について記載してください。

【基礎点評価の観点】

・過去に海外での調査に類する事業を実施したことがあるか。

【加点評価の観点】

・過去に中国現地で調査を実施した実績があり（分野は問わず）、当ノウハウが蓄積されているか。

・過去に基準認証分野について調査を実施した実績があり（国・地域を問わず）、知見を有しているか。

４．２　専門知識、的確性

調査内容に関する知識、知見、ネットワーク等について記載してください。

【加点評価の観点】

・中国の一般的な制度（基準認証以外でも良い）について知見を有しているか。

・中国に関する幅広い知見や人的ネットワークを有しているか。

**５．契約書に関する合意**

応募者は、本事業の契約に際して、当社から提示される契約書（案）に基づいて契約することに異存がないことを確認してください。

**６．その他**

経済産業省からの業務指示がある場合にはそれに対応していただくことに異存ないことを確認してください。

また、本事業を受託するに当たっての要望事項等があれば記載してください。